



家庭訪問型子育て支援 推進事業

平成26年5月28日

特定非営利活動法人i-net



団体概要

- 活動開始 2001年5月～(法人設立2004年)
- 会員数 36名 他に登録サポーター約80名
現在は専門職を含む子育て支援者が中心
- 活動実績 子育て情報の発信
親子交流の場の運営
一時保育施設の運営、保育サポート等

【活動履歴】

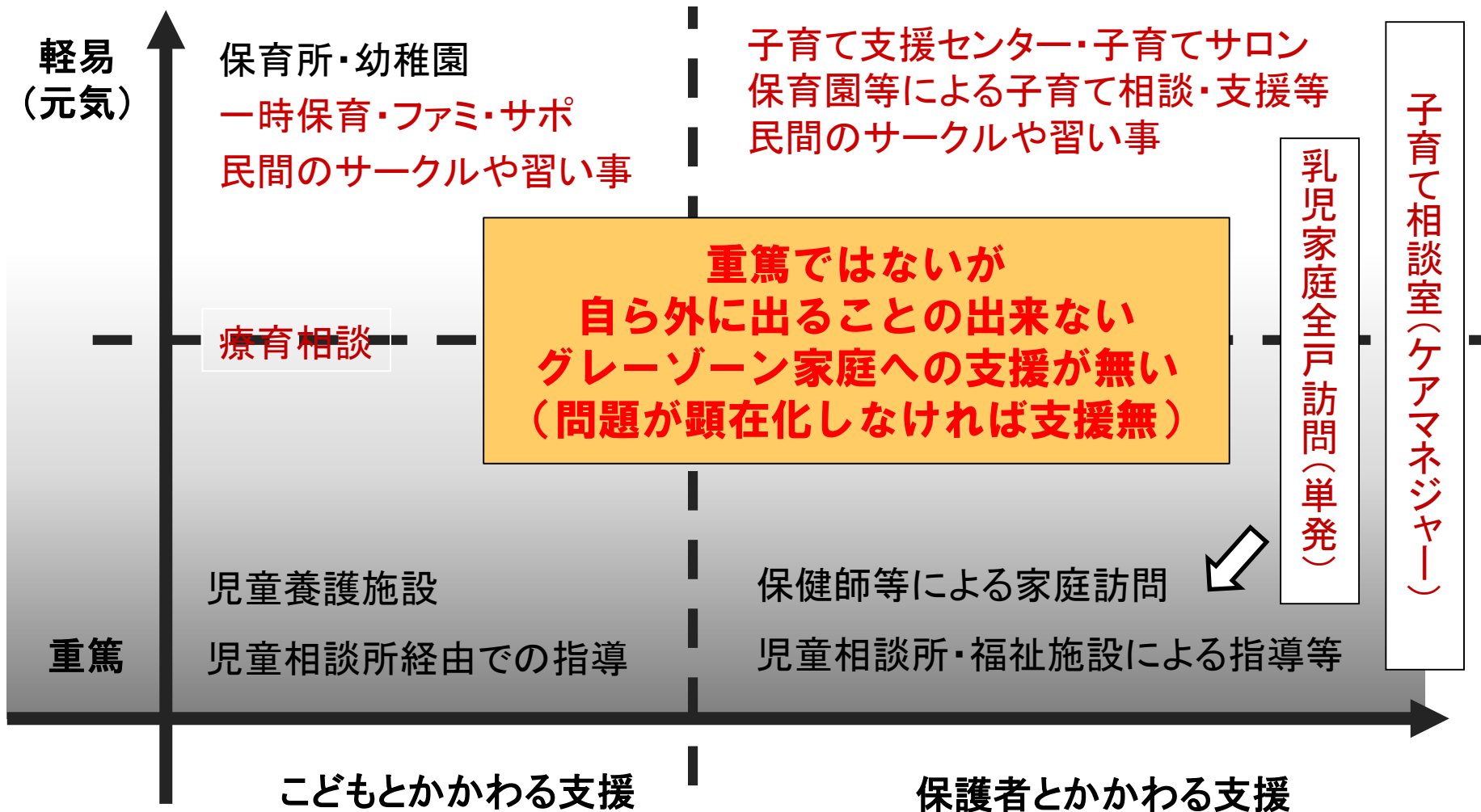
- 2001年 地域子育て情報の発信開始
- 2003年 託児付き講習会開始 / 出張子育てサロン開始
- 2004年 子育て応援メッセ開始
- 2006年 子育てガイドブックの制作開始 定期的な子育てサロンの開始
- 2007年 明海つどいのひろば(子育てサロン・一時預かり)開始
病児・緊急時預かり保育サポート開始(ちばっ子ネット)
- 2009年 保育サポーター(集団託児・個別保育)の開始
- 2010年 家庭訪問型子育て支援ホームスタート開始・定期一時保育「保育室ゆるり」運営開始
- 2012年 産前産後サポート開始
- 2013年 森のようちえん こどもの時間開始

背景及び地域の課題・ニーズ

子育て家庭の94%が核家族世帯
保護者の孤立・育児負担増 → 虐待不安

- 親子交流の場（支援センター・サロン）の拡充
- 一時預かり保育の拡充
- ファミリーサポートセンターの設置
- 子育て相談室（子育てケアマネージャー）
- 乳児家庭全戸訪問（産後に1回訪問）

浦安の子育てを取り巻く状況





家庭訪問型子育て支援ホームスタート

先輩ママ・ボランティアによる 協働と傾聴の家庭訪問型子育て支援

- 未就学児を子育て中の家庭を対象に
- 地域の先輩ママ(事前に8日間の研修必須)が
- 無償で家庭を訪問し(4回・週1回・2時間程度)
- お友だちのようにお話を伺ったり(傾聴)
- 一緒に何かするなどして(協働)

前向きな気持ちを取り戻したり地域に繋がる手助けをします

事業実施内容 ①

事務局を開設(年135日・816時間)

- 活動に関する問合せ・利用希望者への対応
- 家庭訪問の調整
- 訪問関連書類の作成・訪問データの入力・整備
- 運営委員会や行政との打合せ
準備・立会・片付け・議事録作成
- 広報ツールの制作・印刷・配布
- アドバイザーを含めた進捗管理
- ボランティアからの連絡の一次対応
- 会計処理 等





事業実施内容 ①(補足)

広報展開（チラシ8000枚・56か所配布）

行政窓口・公民館等の公共施設

子育て支援施設（子育て支援センター・つどいの広場・幼稚園
すこやか子育て広場・ほのぼのタイム）

浦安市社会福祉協議会・不動産会社・生協会員等

その他の活動

- 広報紙掲載（広報うらやす他 計5誌）
- ホームページの運営
- イベント出展2回（子育て応援メッセ・市民活動フェス）

事業実施内容 ②

専門家等による運営委員会の設置

○ 委員会メンバー

団体内HS担当役員・OG・事務スタッフ

臨床心理士・助産師・民生委員(主任児童委員)・保育士

○ 開催:2回/年

- 家庭訪問の状況確認
- オーガナイザーへのアドバイス
- スキームの組織運営への助言など



事業実施内容 ③

行政(浦安市健康福祉部)との連携

- 年4回の打合せを実施
- 浦安市には広報協力を頂く

広報うらやす2013年5月1日号

相談 1 誰に話せば良いの？

ママ: 子どもが小さく、なかなか外に出られません。子育て経験者と話したいです。

子育てケアマネジャー: 「家庭訪問型子育て支援ホームスタート」を利用して、ボランティアの方に来てもらってはどうか。あなたの家に来てくれる友達のような存在の方よ。

実際に利用した方などにインタビュー

利用者 芳賀 千絵さん(明海在住)
8カ月のふたご3歳の子どもを子育て中。ふたごの子どもが4カ月の時に家庭訪問型子育て支援ホームスタートを利用。

●予想以上の効果
ピジターさんが来てくれることで、ミルクをあげるなどの身体面で楽になったのはもちろんですが、小さな不安も、その場で話し、親観的な意見や経験談を聞けるので精神面でも大変になりました。

●交流するきっかけも
親子が集える場があっても、一人で踏み出しづらい方が多いと思います。ピジターさんはそのママたちと交流するきっかけも得られます。

●初めての子育てはわからないことだらけだと思っています。私は、この事業のことを知っていたら、一人目の子どもときもきわ利用したと思います。皆さんも、ピジターさんの力を借りることをおすすめします。

ピジター 稲田 藤子さん(入船在住)
家庭訪問型子育て支援ホームスタートのピジターとして芳賀さんのお宅を訪問。

自分の子育て中は、緊張しっぱなしだったことを覚えています。子どもが大きくなった、振りかえると、もっとゆったりと子育てを楽しめればよかったです。

この経験をもとに、利用する方がどうしたいのか、何をサポートしてほしいのかを聞き出し、それを届けてあげてお手伝いできるようにしています。

この活動で一番うれしいのは、利用する方が子育てに対する力をうまく抜き、一瞬、一瞬のこどもの表情を楽しめるようになったことです。これからも、たくさんの子どもの笑顔を見られるよう、活動していきたいと思っています。

芳賀さん 稲田さん

家庭訪問型子育て支援ホームスタート

子育てをする時、特に子どもが小さい頃には、誰でも不安があり、周囲の交流が必要です。家庭訪問型子育て支援ホームスタートは、地域の先輩ママがボランティアとして家庭を訪問し、話をしたり、家事や外出を一緒にしたりする事で、4月から、市立NPO法人「人と人をネットワークする」が主催で行っています。どんなサポートが必要かによって異なるため、まずは、あなた自身が必要なサポートを相談するコーディネーター(オアガタイザー)が訪問し、お話を伺います。

※ベビーシッターや家事代行ではありません

対象	市内在住の未就学児の保護者
内容	週1回2時間まで4回程度、ボランティアが訪問します
申込・問い合わせ	電話で、NPO法人i-net ☎350・8615A

(健康増進課)

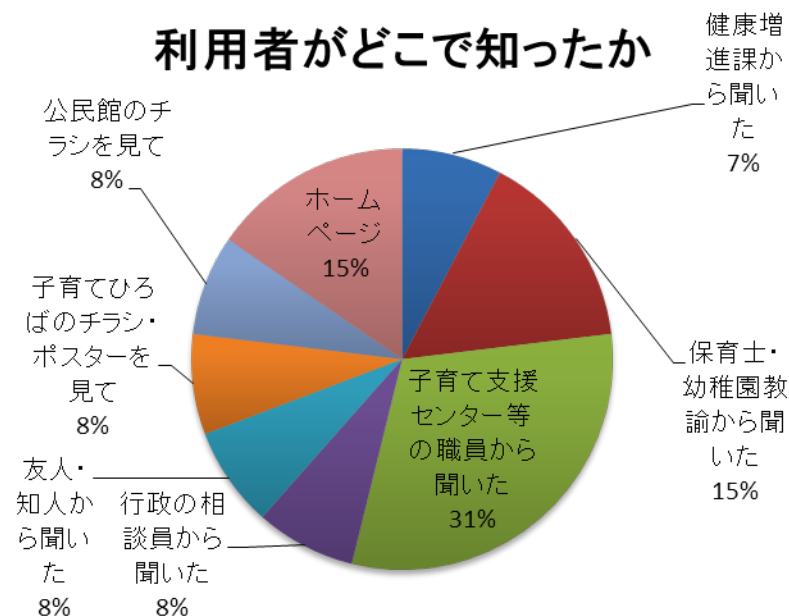


事業実施内容 ④

家庭訪問の実施・13件 問合せ：約30件

- 支援者の紹介 69%
- チラシ・ポスター 16%
- ホームページ 15%

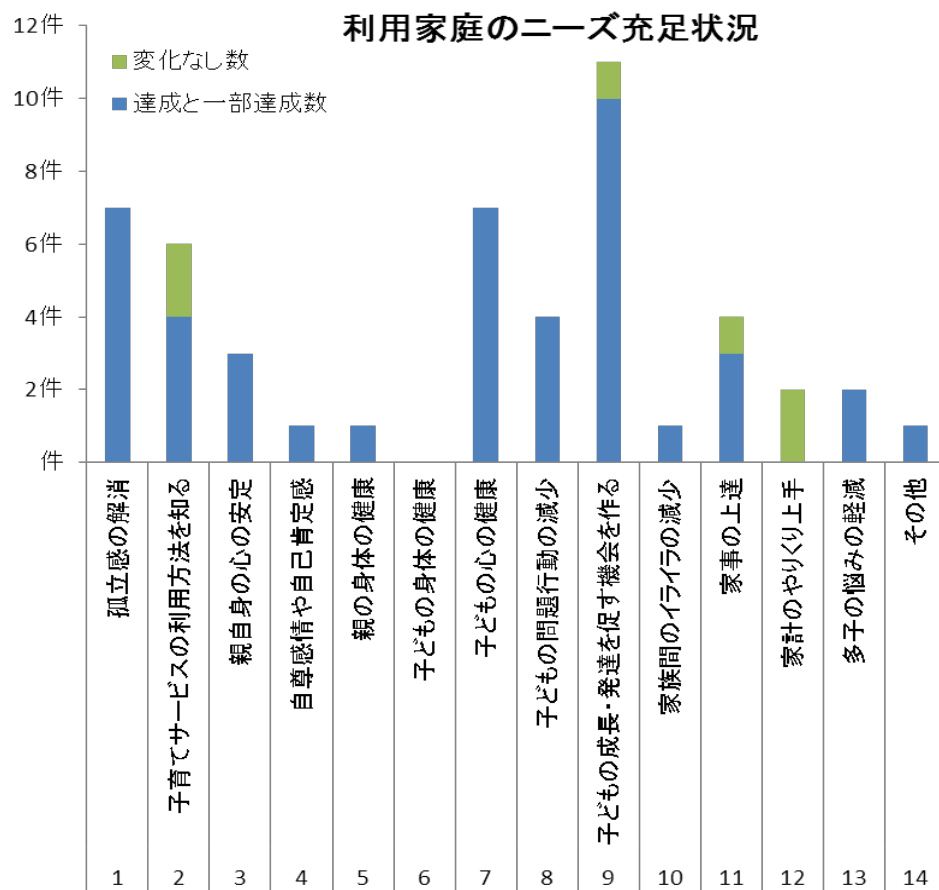
利用者がどこで知ったか



支援者からの紹介が約7割

事業実施効果①

ニーズ充足率 88%



事業実施効果 ②

利用者の声（活動後のアンケート抜粋）

ボランティアさんと一緒に子育て情報を探しに行っ
て、一時預かりま
で申し込むことが
できました。



ボランティアさんが気
持ちに寄り添ってくれ
たことがありがたかつ
た。

ボランティアさんにたくさ
んほめてもらったことで、
自分には自信がつき、子
どもには笑顔が増えた。

話をしていくうち
に、子どもだけで
なく、自分のこと
も大切にしようと思
えるようになった。



利用家庭のその後

地域とのつながりができた
HSは孤立化防止のセーフティネットとして有効

地域子育て支援拠点をよく利用している	4
一時預かりに登録・利用している	2
子どものサークルに所属して活動している	1
ファミリーサポートセンターに登録した	1
プリスクールに入園して、通園している	1
ママ向けサークルを見つけて入会、活動参加	1
幼稚園に入園した	1
転居して市外に転出	2
合計	13





最後に

問題をかかえた家庭は特別な家庭ではない。

～ 誰もが虐待や疾病等のリスクをはらんでいる ～

家庭訪問型子育て支援は未然の支援です。

～問題が起こってから対処するのではなく、未然に予防します～

今後も引き続き活動を続けていきます。